



10月！神戸では、ハロウィーンは、数々の飾りや楽しいことを意味します。ポーポキはカボチャやチョコレートが好き。でも、ときどきおばけがこわい。あなたははどうでしょう？

## Popoki's Hot News!

### UPCOMING!

10月28日 14:00~16:00

「ポーポキと平和と健康を考えるワークショップ@兵庫医療大学」

今年もポーポキと一緒に健康と平和を考えませんか？

詳細は13頁にご参照ください。

お待ちしております！



### 新しい翻訳！

ポーポキの友だちがポーポキの本をインドネシア語に訳してくれました！平和って、なに色？はすでにありましたが、「ポーポキ、元気って、なに色？」(シィウィにゃん)、「ポーポキ、元気って、なに色？」(フトリにゃん)、「ポーポキ友情物語」(レイザにゃん)が翻訳され、インドネシア語のセットができました！ありがとう！！！！



### 「一言の平和」コーナー

ポーポキのお友だちのよしにゃんは、次の「一言の平和」を送ってくれました。

「朝、おならの音で元気を確認。

身体もリラックス。

安心しておならができる朝は体も快調！平和かもしれない？！」



あなたは今日、どんな「平和」に出会いましたか？ぜひお聞かせください。

ポーポキのメール [ronniandpopoki\(at\)gmail.com](mailto:ronniandpopoki(at)gmail.com)！

## 「こどもの里 レポート」

まりにゃん&まこにゃん

7月15日、ポーポキと一緒に「こどもの里」を訪れました。

「こどもの里」は誰でも利用することができる場所で、大阪の西成にあります。こどもだけでなくお母さんやお父さんの居場所でもあります。「こどもの里」では、遊ぶこと、学ぶこと、相談すること、宿泊すること、休憩すること…なんでもできます。「こどもの里」では子どもたちの夜回りや、街のひとたちとの運動会など、街や街に住んでいるひとたちのことを知り繋がる機会が沢山あります。(こどもの里のホームページはこちら：<https://www.eonet.ne.jp/~kodomonosato/>)そんな「こどもの里」にお邪魔させて頂き、こどもたちと思いっきり遊ぶことができました。まずはみんなで「こどもの里」について紹介しているビデオを見た後にたくさんの遊びをしました。共通点さがしゲームやじゃんけん列車というゲームをし、最後にポーポキのお絵かきをしました。「ポーポキが元気でいられるためには何が大事かな？」と一緒に考え、元気が出る絵を描きました。



ポーポキの元気を出すためには…友達が必要！夏は暑いから、涼しいところ。綺麗なお花があれば元気がでるよ！虹が見れたらラッキーだよね…。たくさんのアイデアを素敵な絵にしてくれました。

今回「こどもの里」を訪れたまこにゃんとまりにゃんの感想を紹介します。

最初に見せて頂いた「こどもの里」についての紹介ビデオで、「こどもの里」には「誰か」のを知り「○○さん」「○○ちゃん」(誰かではなく一人ひとりと)と繋がることのできる機会の多さに驚きました。こどもたちが夜回りを行い、おっちゃんたちと会話を交わすことでこどもたちも街や街に住むひとたちのことを知ることができます。また、一緒に運動会などをし、身体を動かすのもとても素敵だと感じました。また、初対面で訪問したわたしたちとすぐに遊んでくれてとてもパワフルな子どもたちでした。素敵な絵と時間をありがとう！

(まこにゃん)

「こどもの里」で自由に思いっきり遊んでいる子供たちを見て、とっても羨ましくなりました。私には、学校の外で様々な年代の子と遊ぶ機会はありませんでした。

短い時間でしたが、こどもたちからたくさんの元気をもらえました！一緒に遊んでくれたみんな、本当にありがとう！

(まりにゃん)

\*\* 大阪市西成区は、日雇い労働者や野宿者の町として知られています。こどもの里は、西成のコミュニティのために色々な活動を行います。毎年、ポーポキは友だちやろにゃんの学生と一緒にこどもの里を訪問し、西成区で日雇い労働、野宿や日本の貧困について学びます。



9月11日から15日まで、ろにゃん先生とふみにゃんと、3人でグアムへ行ってきました！  
たくさんの方にお会いして、たくさんのお話を聞くことができ、とても勉強になりました。  
みなにゃんにご報告したいことはたくさんあるのですが、今回は私が厳選した3トピックをご紹介します！

## No. 1 カラバオに会えた！

グアムへ行く前に読んだ  
ベヴァクア先生の描いた絵本に  
登場したカラバオ。  
グアムで有名な動物です。  
ばったり会うことができました！



カラバオの近さと大きさに緊張して、  
顔がこわばっています(笑)



↑グアムに到着したら、  
空港でカラバオが迎えてくれました！



## No. 2 海軍基地 (Naval Base Guam) を訪問！







↑ 基地内のスーパーマーケット。  
なんでも売っていて、しかも全部安い！



↑ 基地内のガソリンスタンド。  
ガソリンも、基地の外より安い！

基地の中は、なんでもありました！

きれいなビーチ、魚たちがやってくる海のプールは、週末にはたくさんの人が遊びに来ます。  
ガソリンスタンド、スーパーマーケット、病院など、たくさんの施設がありました。

一般の人たちは基地内のスーパーで買い物をすることができず、軍事関係者と同伴でなければなりませんでした。

貴重な経験をさせていただきました。

### No. 3 学生とのディスカッション！

Guam University に訪問しました。

午前中に大学の図書館やカフェテリアをめぐり、日本の大学とは違う空気を味わいました。

そして 12:30 からベヴァクア先生のチャモロ語の授業に参加し、Guam の政治的地位や軍事問題、

「安心と安全」について学生とディスカッションしました。



↑ Guam University のカフェテリア

| SOUTHERN HIGH SCHOOL<br>BELL SCHEDULE<br>SY 2017-2018 |                              |         |
|---|------------------------------|---------|
| TIME  | PERIOD                       | MINUTES |
| 6:35 a.m.   | 1 <sup>st</sup> WARNING BELL |         |
| 6:40 a.m.   | 2 <sup>nd</sup> WARNING BELL |         |
| 6:45 a.m. - 8:15 a.m.                                 | 1 <sup>st</sup> PERIOD       | 90      |
| 8:25 a.m. - 9:50 a.m.                                 | 2 <sup>nd</sup> PERIOD       | 85      |
| 9:50 a.m. - 10:40 a.m.                                | LUNCH                        | 50      |
| 10:45 a.m. - 12:10 p.m.                               | 3 <sup>rd</sup> PERIOD       | 85      |
| 12:20 p.m. - 1:45 p.m.                                | 4 <sup>th</sup> PERIOD       | 85      |
| 1:45 p.m.   | DISMISSAL                    |         |
| 2:00 p.m.   | Buses Depart                 |         |

←ちなみに・・・

Guam の高校は、1 時間目の授業が

朝の 6 時 45 分から始まります！早すぎ！

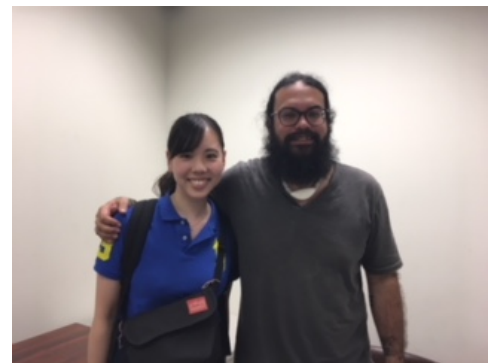
## グアムに行ってみて・・・

今回、私は生まれて初めてグアムという島を訪れました。

「日本から手軽に行ける南国の島」というイメージしか持っていませんでしたが、前期に受講したろにゃん先生の授業を通して、グアムの置かれている状況や、直面している問題について知ることができました。どんなきっかけであれ、少しでも多くの方がグアムに関心を持ってもらえたらうれしいなと思いました！

ろにゃん先生がいなければ、勉強をしにグアムに行くことは無かったろうし、こんなにたくさんの人から意見を聞くことができなかったと思います。「グアムに行きたい！」という私たちの無茶な突然のお願いを聞いてくださったろにゃん先生、ありがとうございました！

まりにゃん



ベヴァクア先生と一緒に



### NEW POPOKI T-SHIRTS!



サイズ: SS, S, M, L, XL

色: むらさき、パステルブルー、白、  
パステルイエロー、パステルピンク

価格: ¥1500 (税込み)

## ポーポキの新しい試み～ポーポキと減災を多言語で考える ～ その6

ろにゃん

先月のポーポキ通信に 8 月の話と 9 月の単語を紹介しました。今回は、9 月の話と 10 月の単語を紹介します。

9 月の単語：被災者、仮設住宅、心のケア  
お話し

ポーポキは、なが～い布（ぬの）を避難所（ひなんしょ）として使（つか）われている体育館（たいいくかん）に広（ひろ）げました。にこにこしながら、みんなに声（こえ）をかけました。「お絵描（えか）きはいかが？」、

「被災者（ひさいしゃ）じゃないけど、いい？」、とボランティアがききました。

「もちろん！どうぞ！」と、ポーポキは答（こた）えました。

まもなくたくさん絵（え）ができました。

「みて！明日（あす）から仮設住宅（かせつじゅうたく）に引っ越（ひっこ）すので、家（いえ）を描（か）きました！」

「わたしはねこを描（か）いた！」

「ポーポキ、今日（きょう）はたのしかった。ありがとう！ボランティアの心（こころ）のケアにもなりました。」

ポーポキは、手（て）をふりながらいいました。「たくさん絵（え）をありがとう！またくるね！」



English: Words for September: disaster affected person, temporary housing, mental health care

Popoki stretched the long cloth on the floor of the gym that was being used as an emergency shelter. He smiled and approached people saying, “How about drawing?”

“I’m not a disaster affected person. Is it all right for me to draw too?” asked a volunteer.

“Of course!” answered Popoki.

Soon there were lots of drawings.

“Look! I’m going to be moving into temporary housing soon, so I drew a house!”

“I drew a cat!”

“Popoki, I had a good time today. Thank you! It was mental health care for volunteers, too.”

Popoki waved to everyone saying, “Thank you for all the drawings! I’ll see you next time!”

Siwinyan: Bahasa Indonesia

Kosakata bulan September : orang terdampak bencana, hunian sementara, perawatan kesehatan mental.

Popoki membentangkan kain panjang dilantai ruang olahraga yang digunakan sebagai tempat penampungan darurat. Ia tersenyum and mendekati orang-orang sambil berkata, “Maukah menggambar?”

“Saya bukan orang yang terdampak bencana, apakah saya boleh menggambar juga?” Seorang relawan bertanya.

“Tentu saja” jawab Popoki.

Tidak lama kemudian, ada banyak gambar yang dibuat.

“Lihat ini, saya menggambar rumah karena saya akan segera pindah ke hunian sementara!”

“Saya menggambar seekor kucing!”

“Popoki, saya senang sekali hari ini. Terima kasih! Menggambar juga merupakan perawatan kesehatan mental untuk relawan juga.”

Popoki melambai kepada semua sambil berkata “Terima kasih untuk semua gambar kalian!, kita bertemu lagi lain waktu!”

10月のはなしは11月号のポーポキ通信に掲載する予定です。



10月第一週目：借り上げ住宅

ポーポキが住(す)んでいる地域(ちいき)には空(あ)いている住宅がたくさんあるので、避難所(ひなんしょ)から仮設住宅(かせつじゅうたく)の代(か)わりに、自治体(じちたい)が家賃(やちん)を負担(ふたん)する借(か)り上(あ)げ住宅(じゅうたく)に住(す)むことができます。

English

First week of October: Subsidized housing

In the region where Popoki lives there is lots of empty housing, so instead of going from the evacuation center to temporary housing, people can go to already existing housing and the local government will pay the rent.



Lóic Bret, French.

Première semaine d'octobre : « Maison subventionnée »

« Dans la région où Popoki vit, il y a de nombreuses maisons vides. Ainsi, plutôt que d'aller d'un centre d'évaluation à une maison temporaire, les personnes peuvent aller dans des maisons préexistantes et le gouvernement local paiera le loyer.

10月第二週目：地震保険

ポーポキは、地震保険(じしんほけん)がほしいけれど、ねこだから加入(かにゅう)できない！

English

Second week of October: earthquake insurance  
Popoki wants earthquake insurance, but he can't get it because he is a cat!

Siwi Sari Prasastiwi Bahasa Indonesia.

Minggu kedua bulan Oktober: asuransi gempa bumi

Popoki ingin memiliki asuransi gempa bumi, tetapi ia tidak bisa karena dia seekor kucing!

Loïc Bret French version: "Assurance contre les tremblements de terre"

"Popoki veut une assurance contre les tremblements de terre, mais il ne peut pas en avoir parce qu'il est un chat !"





10月第三週目：復興（ふっこう）

ポーポキが思（おも）う復興（ふっこう）は、みんながおうちに住（す）み、地域（ちいき）に仕事（しごと）やお店（みせ）もあり、おあそびもでき、そしてみんなが笑顔（えがお）になっていることです。

English



Third week of October: Recovery

Popoki thinks that recovery is when everyone has a home, the area has work, shops, and places to play, and everyone is smiling.

Loïc Bret French translation: "Redressement"

"Popoki pense que le redressement c'est quand tout le monde a une maison, un endroit où travailler, où faire les magasins, où jouer, et où tout le monde sourit."

Siwi Sari Prasastiwi Bahasa Indonesia  
Pemulihan

Menurut Popoki, pemulihan adalah saat semua orang memiliki rumah, tempat untuk bekerja, toko-toko dan tempat untuk bermain, dan semua orang tersenyum

10月第四週目：減災（げんさい）

ポーポキは、災害（さいがい）を防止（ぼうし）することはできませんが、みんなが減災（げんさい）に関心（かんしん）をもって、協力（きょうりょく）し、そして日常的（にちじょうてき）にまわりの人（ひと）とあいさつやおしゃべりをしていれば、被害（ひがい）を少（す）くなくすることは可能（かのう）だと思（おも）います。

English

Fourth week of October: disaster risk reduction

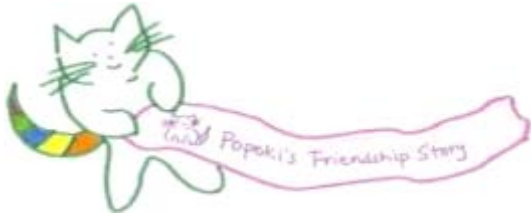
Popoki thinks that although disasters cannot be prevented, if everyone is interested in disaster risk reduction and works together, and if they greet and chat with their neighbors on an everyday basis, it is possible to reduce the damage.



Loïc Bret French version: "réduction des risques de catastrophes"

"Bien que les catastrophes ne peuvent être évitées, Popoki pense que si toutes les personnes s'intéressaient aux méthodes de réduction des risques de catastrophes ; si elles acceptaient de travailler ensemble et si elles saluaient et accueilleraient leurs voisins presque tous les jours, alors il serait possible de réduire les dégâts causés par ces catastrophes."





## \*Popoki's Interview\*

徳島大学大学院医歯薬学研究  
部総合診療医学分野 助教  
AMDA、AMDA 兵庫  
鈴記好博

2017年9月7日23時49分（現地時間；日本時間では9月8日13時49分）、メキシコ南部沿岸から近い太平洋沖で、マグニチュード8.2の地震が起こりました。揺れは100秒ほど続いたそうです。オアハカ州のフチタンを中心に大きな被害が出ました。

そして日本時間の9月11日、認定特定非営利法人AMDAから、このメキシコ沖地震への緊急医療支援隊として私ともう一人の看護師兼調整員の二人が派遣されました。被災地の情報は乏しく、現地の日本人通訳者が用意されていることと、天理教のメキシコ出張所の方から情報をお聞きできるということだけが決まっています、メキシコに入ってから被災地に関する情報収集、活動方法・場所の決定、活動拠点の選定、活動の準備をしなければならず、「どうなることやら」と思いながらのメキシコ入りでした。しかしいつも思うのですが、こういう時には必要な方とお会いでき、その方が予想以上の働きをしてくれるものなのです。お会いしに行った天理教の出張所には、先日までフチタンでいたメキシコ人がいて、フチタンには彼の友人もたくさんいるということでした。漫画のような話ですが、天理教徒であるメキシコ人の彼の名前はクリスチャンといいます。被災地の情報は、彼や、彼が連絡を取ってくれた友人たちから得ることができ、フチタンにある彼の友人の知り合いが、彼の家を我々の活動の拠点・宿泊場所提供してもらえるとということも決まり、9月13日（現地時間）



にフチタン入りをすることができました。

フチタンは人口10万人と大きな町ですが、主にネイティブアメリカンが住む比較的貧しい町です。主にフチタンの中心街に被害が集中し、古いレンガの建物などは崩れ去ってしまっている状態で、比較的新しい建物はひびが入るなどの半壊状態といった具合でした。家が建ったまま残っていても、余震による倒壊の恐れがあるため、住民のほとんどが自宅前の道端で、寝泊まりするという避難の形でした。泥棒が入るのを恐れて、自宅前から離れられないといった事情もあるようです。熊本地震では同じ理由で自宅近くに車中泊避難されている方が多かったと記憶します。フチタンに入ったのが、発災6日後でありましたが、被災者の皆さんが一様に明るく過ごされていたのが印象的でした。

私の帰国後すぐに、メキシコ中部地震が発生し（現地 19 日 12 時 14 分、マグニチュード 7.1）、首都圏が被災しました。そのため、支援としての多くの物も人もメキシコシティに集中し、メキシコ沖地震の被災地支援は滞っている状態と考えられます。加えて現地時間 9 月 23 日 7 時 53 分にオアハカ州で M6.1 の地震発生により、フチタンでは橋の崩落、建物の崩壊が進んだようです。

メキシコシティに注目が集まる中、本当に弱い場所に目を配っていくことが必要であると感じました。

9 月 25 日（現地時間）AMDA は首都ではなく、フチタンに入っています。





# ポーポキちゃんの簡単ポガ教室

## Lesson 112

今月のテーマは、ハロウェーン！



1. まず、いつものように、美しく座りましょう。
  2. では、座ったまま、ひじがウサギの耳のような形になるように、腕やひじをあげましょう。ウサギのしっぽのように自分のしっぽを丸めてみてはいかが？
  3. 次は、立って、肩を耳のほうへあげて手を伸ばす。つめさきは外向けで、ひざをまげずに、ペンギン歩きをしてみましょう。
  4. 最後はゴリラ！肩を下げて、腕を軽くまげる。ゴリラの声も出してみましょう！
  5. できてもできなくてもがんばりましたね。では、「できたポーズ」をどうぞ！
- お疲れ様でした。少しリラックスできましたか？毎日、深呼吸・笑・リラックス、そしてポガを最低3分間練習しましょうね。

## 一緒にいかが？



次回のポー会：10月 28日 16:30～ 兵庫医療大学 WSのあと！

- 10.28 「平和と健康ワークショップ」@兵庫医療大学（13ページをご参照）。
- 11.2～4 ポーポキ、ろにゃん、さとにゃん@大槌町
- 12.5 高校の講師のためのポーポキ・ワークショップ、兵庫県教育研究会 国際理解教育部会@JICA関西！
- 12.21 ポーポキ@ガジャマダ大学(インドネシア、ジョグジャカルタ市)
- 12月 ポー年会
- 2018.2 ポーポキと友だち@大槌町

ポーポキの友だちから

新しい絵本：中條聖子著、ロニー・アレキサンダー訳『森のかんづめ』（日英版）エピック 2017年

# ポーポキピースネットワーク

## 第7回ワークショップ 「健康って、なに色？」

Workshop: "What color is Health?" @ Hyogo University of Health Sciences



あなたも 平和のねこと一緒に  
健康と平和について  
感じたり、考えたりしませんか？



平和って何だろう？健康って何だろう？

普段何気なく聞いたり見たり感じたりしていること。

ねこのポーポキと一緒に平和や健康の観点から暮らしを見直してみませんか？

あなたの健康の指標は、なに色？みんなで一緒に考えてみよう！！



### スケジュール Program

- 13:30 受付 Registration
- 14:00 「ボガ」タイム Poga ※ボガ：ポーポキのヨガ
- 14:05 ワークショップ①「ポーポキ、健康って、なに色？」  
Workshop 1: Popoki, what color is health?
- 14:30 散策して平和と健康、安全・安心を探そう \*雨天は室内で決行  
Walk outside and look for peace and health, safety and relief. \*It will be held indoors if rainy
- 15:10 ワークショップ②「あなたの健康の指標は、なに色？」  
Workshop 2: What color indicates your own health?
- 15:50 まとめ、発表 Conclusion, presentations
- 16:00 解散 Dismissal

日時 2017年10月28日（土曜日）

14:00~16:00

場所 兵庫医療大学 地域連携実践センター

対象 どなたでも参加できます。Open to all

定員 30名 30 participants

会費 100円

申込方法 FAX（裏面）にてお申し込み下さい。Registration: Fax (see the reverse side)

問合せ先 兵庫医療大学 地域連携実践ステーション

電話 078-304-3013（受付時間：平日9時~17時）

担当者 兵庫医療大学薬学部 桂木聡子 For information contact Satonyan



# Popoki in Print

ポーポキ通信のバックナンバー : <http://popoki.cruisejapan.com/archives.html>

- 「ポーポキのミニ平和映画祭」**「こくしのまど 52」**『神戸青年・Kobe YMCA News』No.652 2017.7-8
- ESD Digital Archives, Kansai Council of Organizations for International Exchange <http://www.interpeople.or.jp>
- 関西国際交流団体協議会の**「デジタルアーカイブ(WEB版の事例集)にポーポキ!** <http://www.interpeople.or.jp>
- 『平和を考える絵本出版 被災者支援きっかけに』『神戸新聞』(貝原加奈 2014.4.25 28面)
- **「ボランティア 37 団体に助成 大和証券福祉財団**『神戸新聞』(2013.8.23 朝刊 地域経済 8面)
- **「原爆の熱線で焼き付いたー “人影”再現、非核誓う**『神戸新聞』(2013.8.7 朝刊 22面)
- **「被災 秘めた思い描いて」「ひと抄**『読売新聞』(2013.2.16 夕刊 4面)
- 広岩近広 『安全』『安心』の社会は足元から」、ロニー・アレキサンダーインタビュー 『毎日新聞』2012.10.29 (「今、平和を語る」、夕刊、1面)
- R. Alexander. “Remembering Hiroshima: Bio-Politics, Popoki and Sensual Expressions of War.” *International Feminist Journal of Politics*. Vol.14:2:202-222, June 2012
- **「ポーポキと一緒に作り出す平和の根底に 9 条がある」**NO : 66 2012 年 5 月 12 日 [子どもと守る9条の会]
- **「布に希望 60メートル」** 阿久沢悦子 『朝日新聞』 2012.1.21 (兵庫・29面)
- **「平和祈る声まとめ本に」** 斎藤雅志 『神戸新聞』 2012.1.19 (伝える 1・17 3・11、22面)
- K. Wada. “Conversations with Ronni Alexander: The Popoki Peace Project; Popoki, What Color is Peae? Popoki, What Color is Friendship?” *International Feminist Journal of Politics* Vol.13, No.2, 2011, 257-263
- S. McLaren. “The Art of Healing” (Popoki Friendship Story Project) *Kansai Scene*. Issue 133, June 2011, p.10. kansaiscene.com
- R. Alexander. (2010) “The Popoki Peace Project: Creating New Spaces for Peace in Demenchonok, E., ed. *Philosophy after Hiroshima*. Cambridge Scholars Publishing, pp.399-418
- **「省窓」**『神戸青年』 No.606 2011.1.2 p.1
- No.1 **「『ポーポキ、平和って、なにに色?』の背後にあるもの** (連載) とさぼりライフ第 19 号 2010.10:4
- 堀越健志**「シリーズ:こくさいのまど⑮(パレスチナについて)**『神戸青年』 No.604 2010.9-10
- **「みんなでやれば、何にかが変わる！」** THE YMCA No.607 June 2010, p.1
- [ヒロシマと世界: 被爆地の声 非核と平和、復興と再生、許しと命の尊厳訴え] [http://www.hiroshimapeacemedia.jp/mediacenter/article.php?story=20100312140608602\\_ja](http://www.hiroshimapeacemedia.jp/mediacenter/article.php?story=20100312140608602_ja)
- 2010.3.15 中国新聞 ヒロシマ平和メディアセンター
- FM COCOLO 76.5 ‘Heart Lines’ 2010.1.9 Interview: Ronni on Popoki in Palestine
- “Human Rights, Popoki and Bare Life.” *In Factis Pax Journal of Peace Education and Social Justice* Vol.3, No.1, 2009, pp.46-63 (<http://www.infactispax.org/journal/>)
- 西出郁代 **「ポーポキ、平和って、なにに色? ロニー・アレキサンダーを迎えて」**『PPSEAWA』(日本汎太平洋東南アジア婦人協会) No.63 2009.12, p.5.
- **「友情」**第 2 号 2009.11 伊丹市国際・平和交流協会 年間事業報告 pp.1-2
- **「ともに・・・」** No.29 2010.1 家庭と保育所、学校園、地域を結ぶ在日外国人教育情報誌 ポーポキ・ピース・チャンレジ情報 p.12
- 区民情報誌**「なだ」** 2009.12, p.2. ポーポキ・ピース・チャンレジ情報。
- **「『ポーポキ、友情って、なにに色?』「私のいち押し」** 奥田光子 THE GAIDAI 2009.7.17 No.243 (関西外大通信)
- **「友情って・・・考える絵本」** 朝日新聞「生活」(阿久沢悦子) 2009.7.2
- **「友情を考えて人間と、ねこと、そして自分と～」** れ組通信 RST/ALN 2009.6.28 No. 259, p.11
- **「カティング・エッジ」** 第 35 号 2009.6 (北九州市立男女共同参画センター「ムーブ」)「新刊紹介:『ポーポキ、友情って、なにに色?ポーポキのピース・ブック 2』(レベッカ・ジェニソン) p.3
- **「猫を通して平和を考える 絵本の第 2 弾を出版」**(斎藤雅志) 神戸新聞 2009.4.21
- **「ポーポキ、平和ってなにに色?」** KOBE YMCA NEWS「神戸青年」 2009.3.1 No.593 p.2
- **「ポーポキ、ゴミってなにに色?」** KOBE YMCA NEWS「神戸青年」 2009.1.1 No. 592 p.2
- **「友だちになつてくれませんか?」** RST/ALN 2009.2.22
- ラジオ番組の中のポーポキ!!! プロジェクト・メンバーの宇留賀佳代子さんがラジオ番組で紹介してくださいました。ぜひお聞きくださいね。 <http://www.kizzna.fm/> 録音番組。(リンクは現在無効)
- やさしいから人なんです展パート20 実行委員会 『世界人権宣言』 ひょうご部落解放・人権研究所 2008. 10 500 円。詳しくは: [blrhyg@osk3.3web.ne.jp](mailto:blrhyg@osk3.3web.ne.jp)
- **「KFAW カレッジ ロニー・アレキサンダー氏 講演会」** エイジアン・ブリーズ/Asian Breeze No.54 October 2008, p.8 (アジア女性交流・研究フォーラム)
- **「ピースセミナー in 熊本 あなたにとっての「平和」とは?」** Kumamoto YMCA News 10; Vol.437 October 2008, p.1
- 神戸新聞 **「人権宣言 兵庫から発信 全 30 条 イラストで表現 地元ゆかり 6 名がパネル制作」** 2008.10.8. 10







## わたしにとってのポーポキ

けいにゃん

「あ〜」温泉で湯船につかると、いつもこの声ができます。自動的に。天然温泉でないといけません。まして、家のお風呂は問題外。「家から離れた」、「大自然に囲まれた」、「独特な香りのする」お風呂じゃなきゃダメなのです。熱いお湯に浸かると、温泉の効能が五臓六腑に染み渡る（様な気がします。）このように平和を感じられる場所は、そう多いものではありません。

一方で、外国から来た友達に、この素晴らしさを伝えても、ちっともわかってもらえません。家のおフロと何が違うのか。他の人と一緒にくつろげるのか。向こうには裸のぼけものがうじゃうじゃいるような、バッチイものに見えるそうです。バッチイはひどいですね。

「あ〜」は言ってくれそうにもありません。

このように、他の文化を目にすると、新鮮さもありましょうが、たいてい自分の持つ文化との違いが多く印象に残ります。ましてや、この違いが良いものとして映らない場合、他の文化を持った人は“変な”ものとしてみなされてしまうかもしれません。私にとっての温泉のように、自分が愛してやまないものも、他の人からしたら理解できないものになるのです。

私が異文化間での交流をするときには、楽しみながらも、同時にお互いの文化を完全に理解することはできないと考えています。大切なのは、お互いに、自分と違うことを認めながら、どこまで理解しようとするかではないでしょうか。相手を変なわけではないのです。逆に、お互いに理解できない点があるからこそ、相手に自分では手に入れられないものを感じる。これが、世界の人と交流する醍醐味かもしれませんね。



## さらにご協力ください！



ポーポキ・ピース・プロジェクトは、『ポーポキ、平和って、なに色？ポーポキのピース・ブック1』（エピック、2007年）、『ポーポキ、友情って、なに色？ポーポキのピース・ブック2』（エピック、2009年）、『ポーポキ、元気って、なに色？ポーポキのピース・ブック3』を題材に、全身で平和の意味を探り、一人ひとりの「発見」を平和の創造に役立てようとする小さな平和活動団体です。また、2011年に起こった東日本大震災をきっかけに活動をしており、『ポーポキ友情物語 東日本大震災で生まれた私たちの平和の旅』という本を2012年1月に発行しました。2006年に設立されて以来、日本国内外で幅広く平和のためのワークショップなどの開催を続けてきました。活動の資金はすべて本の売上や寄付によって行っています。

これからも平和を考えるためのピース・ワークショップ、読み聞かせ、ピースキャンプ参加、ポーポキのピース・ブックの翻訳（『ピース・ブック1』は既に10カ国語に翻訳されている）、『ポーポキのピース・ブック3』の執筆などの活動を中心に活動を続ける予定です。定期例会「ポー会」を月に一度のペースで開催しています。一緒に活動なさいたい方はぜひご参加ください。（ポー会の開催については、ポーポキ通信の「ご一緒にどうぞ」の欄をご参照されたい。）

また、こういった活動に対してのご協力、ご支援をぜひお願いしたいと存じます。本の購入・寄付・本についてのコメント、感想、注文などについては、[popokipeace@gmail.com](mailto:popokipeace@gmail.com) へお問い合わせください。

なお、本についての問い合わせや注文は、お近くの書店、アマゾン、あるいはエピック（TEL: 078-241-7561・FAX: 078-241-1918）へどうぞ。

ポーポキ・ピース・プロジェクト [popokipeace\(at\)gmail.com](mailto:popokipeace(at)gmail.com)

<http://popoki.cruisejapan.com>



郵便振替口座番号 00920-4-280350

ゆうちょ銀行 店番099 店名099店 当座 口座番号0280350

口座名 ポーポキ・ピース・プロジェクト神戸

ポーポキ平和募金は一口 1500 円 何口でも結構です。



THANK YOU FROM POPOKI!